

下水道管路の全国特別重点調査について

資料 4

概 要

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故を受けて、国土交通省から下水道管路の全国特別重点調査の実施の要請があり、本市も潜行目視やテレビカメラ等による調査を実施しています。

調査対象

内径 2 m 以上かつ1994（平成6）年度以前に設置・改築された下水道管路

調査は、大規模陥没が発生すると、社会的影響が大きい管路から、優先度（腐食しやすい箇所等）をつけて実施します。

豊橋市	延長	実施時期
全国特別重点調査対象	30.9km	令和8年2月まで
（うち、優先実施箇所）	4.8km	令和7年8月まで

➤ 現行の法定定期点検は、構造的に腐食しやすい箇所を5年に1回以上の頻度で実施

調査方法

- **潜行目視** … 作業員が下水道管内に入り、目で腐食等の状態を詳細に点検する調査
- **テレビカメラ** … 専用のテレビカメラ(自走式)を使用し管内の様子を映像で確認する調査



写真-1 潜行目視



写真-2 自走式テレビカメラ

判定基準

腐食・たるみ・破損をそれぞれ診断し、劣化の進行順にランク付けした上でスパン毎に緊急度を判定

■ 評価基準（一例）

項 目 \ ランク	A	B
管の腐食	鉄筋露出状態	骨材露出状態
浸入水(破損)	噴き出ている	流れている

区 分	全国特別重点調査の判定基準
緊急度Ⅰ	ランクAが1項目以上
緊急度Ⅱ	ランクBが1項目以上

➤ 現行の判定基準は、ランクAが2項目以上で緊急度Ⅰ、ランクAが1項目もしくはランクBが2項目以上で緊急度Ⅱ



写真-3 ランクA 腐食



写真-4 ランクA 浸入水(破損)

対 応

緊急度に応じて、期限内に対策（管更生工事等）を実施

区 分	実施時期
緊急度Ⅰ	速やかな対策（原則1年以内）を実施
緊急度Ⅱ	応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施

➡ 豊橋市上下水道ビジョンの最終年度（2030（令和12）年度末）までに必要箇所の対策を完了します。